

トレーナー部門 **最優秀賞**  
**渡部真吉**さん (34歳)



渡部真吉さん Shinkichi Watanabe  
 高校時代までプロ野球選手を夢見て練習に励むがスポーツ障害に悩まされる。卒業後、仙台にある専門学校に進み、その後フィットネスインストラクター、スポーツ施設指導員を経て、柔道整復師の資格をとり、地元秋田に戻って整骨院をオープン。ここを拠点に、広く地元のトレーニング指導、健康指導にもあたっている。柔道整復師、健康運動指導士、NSCA-CPT。

この地に「トレーナー」がいること、「トレーナー」ができることを知って欲しい

渡部真吉さんの拠点は、冬の「かまくら」で知られる秋田県横手市。壮大に広がる田んぼの一角にある接骨院が渡部さんの活動の拠点だ。仙台のスポーツ系専門学校を卒業後、民間フィットネスクラブ、公共スポーツ施設勤務などを経て、柔道整復師の資格を取得。4年前に開業した。仙台や盛岡などで学び、経験を積んだ後に地元秋田に戻り、この地でスタートした活動が、2013年、幅広い分野での活動に繋がった。

数々の活動に踏み出すきっかけとなったのは、2012年にミス・ユニバース・ジャパン秋田大会でボディメイクを務め、担当した秋田代表が、日本大会のスポンサー特別賞を受賞したことだ。もともと地元で活躍するスタイリストやメー

クアアップアーティストなどと「秋田美人をプロデュースするようなプロジェクトがしたい」と企画を練っているところに、ミス・ユニバースの地方大会運営者と縁があり、2週間のビューティーキャンプを企画運営。その模様と結果が地元メディアをにぎわせた。これをきっかけに、運動指導者としてメディアへの露出機会が増えた。2012年1月には、地元A・B・S秋田放送の夕方のニュースで放送された「女性をキレイにする」特集企画では、ミス・ユニバースのボディメイクを担当した整骨院院長。としてインタビューされた。渡部さんはその効果についてこう話す。

「秋田の人は、見栄っ張り、保守的なところがありますから、トレーナーが何を主張しても聞いてくれる人は限られています。同じ内容でも、華やかな有名人や、ドクターや先生など権威を感じさせる人が言っただけで、急に聞き耳を立てて、悪くいえばそうした情報にすぐ流されてしまうところがあると感じています。トレーナーとして正しい情報を届けたい。そのためには、秋田の生活者の方々が「この人の言うことなら」と感じて貰えるような存在になる必要があるんです」

自身を演出する一方で、渡部さんはトレーナーであることを大切にしている。時には白を着た接骨院の先生であっても、現場ではジャージで運動を教えるトレーナーであることを誇りにしている。その本質的なトレーナーの力を存分に発揮しているのが、自治体の活動であり、小・中・高校に向いてのトレーニング指導である。

渡部さんは、国家資格である柔道整復師に加えて、民間資格で自治体の活動に生きる健康運動指導士、スポーツ分野での指導に生きるNSCAなど、それぞれの分野の資格を持っている。秋田での3分野の資格を持っている。

秋田県で活動する渡部真吉さん。秋田県といえば、少子高齢化率全国1位、がん死亡率1位、自殺率1位と、日本の中でも課題先進国ともいえる土地。そこで、「トレーナー」という立場にこだわりながら、よりよい社会に近づけるべく邁進する。現状では、単に「トレーナー」と言っても耳を傾けてくれる人は少ないものの、「トレーナー」ができることを伝えたい。2013年、その渡部さんの強い思いが数々の実績に繋がった。

にきていた。全国中学校スキー大会で優勝する実力を持つ選手で、怪我で練習ができず、リハビリを兼ねてトレーニングに来ていたのだ。当初は施設のトレーナーとしてその選手を見ていたが、その選手が高校に進学すると、その高校のコーチから声がかかり、以来その選手とチームのトレーナーとして働くようになった。また渡部さん自身学生時代に野球をしていた経験から、野球をしているジュニア選手のトレーニングにはどうしても目が行った。施設にトレーニングに来ていた高校生に部活チームにボランティアで指導に行ったことをきっかけに、隣の部活チームの先生からも声がかかるようになり、次第にジュニア世代のトレーニングにも関わるようになっていく。

さらに地元でスポーツトレーナーとして活動する人の多くが、柔整師などの国家資格を持っていることから、そうした資格を持ちアスレティックトレーナーとして活動している人とのネットワークを築いていくうちに、秋田県の体育協会所管のトレーナー部会にも所属。国体での帯同トレーナーの仕事なども行っている。渡部さんはこう話す。「ジュニア世代には、特に正しい情報を

届けたいと強く思います。というのも、自分自身野球に打ち込んできて、野球推薦で進学し、プロ野球選手になることを夢に描いて頑張っていました。でも、先生が言うことと、教科書に書かれていることが違って、何が正しいのか分からないまま頑張るうちにオーバーストレスで腰痛を助長してしまい、結果が残せなかったのです。その経験から、一人でも多くの頑張っている人が、「やり切った」と思えるように、迷わず頑張れるように、トレーニングの原理原則を伝えていきたいと思っています」

「今や世の中には情報が溢れているものの、特に地元秋田では、メディアで話題になる情報に振り回されやすいと感じます。だから、正しい情報を多くの方々に届ける近道は、自分が影響力のある存在になること。より多くの生活者の方々に耳を傾けて貰えるように努力しながら、トレーナーができることを形にしていって、社会におけるトレーナーの必要性を地道に伝えていきたいと思っています」

不名誉な記録をいくつも持つ秋田を、トレーナーの力でよりよい場所に。渡部さんは、数十年単位の長期的ビジョンに向かって歩みを進めている。

受賞理由



フィットネスクラブの軒数も少なく、フィットネスやトレーニングの情報が届きづらい環境の中、地元へ広く最新の本質的なトレーニングの情報や、トレーニング環境を創る活動を力強く進めていることが高く評価された。国家資格である柔道整復師、自治体の活動に参画しやすい健康運動指導士、トレーニング指導者としての民間資格であるNSCA-CPTを持ち、戦略的にトレーナーとしての発言力や影響力を高めて実績に繋がっている。



ミス・ユニバース・ジャパン秋田代表のボディメイクを担当。活動の幅を広げる契機となった



2007年田沢湖スキー場で開催された秋田国体冬季大会で、アシスタントトレーナーとしてアスリートをサポート



温泉大国秋田の特産。トレーニング後のリカバリには必須で、2日間も入らないと気持ち悪くなるほどの温泉好き。

渡辺さんのこれまでの仕事人生グラフ

